

今日は天気がとてもいいみてえ  
いつも通りこの日程  
五体満足をこの体で感じて  
背筋を伸ばして 正すよ姿勢

失うべきじゃねえ物それは理性  
見失っちゃってるこのご時世  
分け与えるべきものそれは知性  
宇宙から見れば小せえ

俺らの人生 行き当たりばったりばかり  
あてもないまま転がる石みてえ  
だけど未だにこの道信じて  
行けるとこまで行くと課した使命

振り返れねえ感じる間もねえ未練  
乗り越えたと思えばまた訪れる試練  
いつも損なう女神の機嫌 それは無期限

人間の足 それは起源 1日一歩 それが理念  
石の上に1年2年 雨降らして固める地面

今日も歩き続ける 靴のカカトがまたすり減って  
棒になってる足を撫で下ろして1日がおわる  
同じ道の繰り返しそれでもなぜか胸が高鳴る  
遠く離れた目的地見定めながらしかりと踏み締める  
ひたすら歩いて

Every day

目の前に定める視点 確認してる今この現時点  
Googleナビを片手に彷徨う道半ばで訪れる分岐点

危険な道でもできねえ棄権 自然に身を任せ利かす機転  
利点はねえけど続けてみて ふと気づけば歩いてる異次元

太陽が眩しくて眉間にしわ寄せれば突然の霹靂  
出会い頭の雨あられ打たれた後に見える虹は綺麗

逆らうことはできねえ 日々回り続けてる地球の自転  
飛び交う様々な意見の中で書き綴るおれの自伝

今日も歩き続ける 靴のカカトがまたすり減ってく  
棒になってる足を撫で下ろして1日がおわる  
同じ道の繰り返しそれでもなぜか胸が高鳴る  
遠く離れた目的地見定めながらしかりと踏み締める  
ひたすら歩いて

Every day

陽炎揺れている真夏日 昼間のアスファルトが熱い  
オアシス求めてる砂漠に だけれどもノルマは山積み

時には視界は霧がかり いくら進んでもキリはない  
だけれど調子は尻上がり 濡れないよう跨ぐ水たまり

靴に入る小石が痛い 渴いたのど潤したい  
見上げれば雲が近い ポーっとして道ふと間違い

人生という名のこのロード 向かう先はあの桃源郷  
誰にもさせないとうせんぼ 俺たちは自由だFREEだ

気づけば東から差し込む木漏れ日

今日も歩き続ける 靴のカカトがまたすり減ってく  
棒になってる足を撫で下ろして1日がおわる  
同じ道の繰り返しそれでもなぜか胸が高鳴る  
遠く離れた目的地見定めながらしかりと踏み締める  
ひたすら歩いて

Every day

行く手を阻むもの  
気にせず歩いて行こう  
地図を広げてみよう  
振り返らずにLets go